令和８年７月２１日

ファイアウォール設定について

株式会社ＴＫＣ

「ｅ－ＴＡＸ法定調書」を利用するためには、ファイアウォールソフトおよびファイアウォール機器等が、「ｅ－ＴＡＸ法定調書」の通信を許可する設定が必要です。
そのため、貴社のシステム担当者様に、以下の設定となっていることをご確認ください。

１．「ｅ－ＴＡＸ法定調書」の動作要件（ファイアウォール設定）

貴社のネットワーク上でファイアウォール機器等が動作している場合、以下の通信宛先およびポートへの通信を許可する設定となっていること。

(1) e-TAX 法定調書を利用する場合に許可する宛先とポート

宛　先	ＵＲＬ	ポート
国税電子申告･納税システム（e-Tax）	https://uketsuke.e-tax.nta.go.jp	443
地方税ポータルシステム（eLTAX）	https://www.portal.eltax.lta.go.jp	443
株式会社ＴＫＣ	https://etaxlicense.tkc.co.jp	443
	https://cts.tkc.co.jp	443
	http://ctsdwnld.tkc.co.jp	80
	https://ctsdwnld.tkc.co.jp	443
	https://www.prft.tkc.co.jp/	443
	https://go.tkc.jp	443
	https://www.tkc.jp	443
	https://gprooe.tkc.co.jp	443
	https://cbc.tkc.jp	443
	https://tkcjpckbfym.amie-bot.com	443
	https://contact-escalation.tkc.co.jp	443
株式会社ＴＫＣ （プログラムインストール ／プログラムダウンロード ／ＩＳＯダウンロード）	http://crl.*.amazontrust.com	80
	http://ocsp.*.amazontrust.com	80
	http://*.microsoft.com	80
	https://*.microsoft.com	443
	http://*.windows.com	80
	https://*.windows.com	443
	http://*.windowsupdate.com	80
	https://*.windowsupdate.com	443
	http://download.microsoft.com	80
	https://download.microsoft.com	443

※「第六世代税理士用電子証明書」で電子署名する場合は、次のＵＲＬを許可してください。

宛　先	ＵＲＬ	ポート
リモート署名サーバー	https://jfcpta-rssp.hsm.toshiba.co.jp/	443
第六世代管理ツール	https://nzs6.e-probatio.com	443
第六世代管理ツール （可変文言データ取得、CP/CPS 参照用）	https://www.e-probatio.com	443

日本税理士会連合会 HP（https://www.nichizeiren.or.jp/taxaccount/auth/psa6th/#a）では、TLS クライアント認証の例外設定（特にプロキシサーバを使用している環境下）について、TLS クライアント認証を要求するＵＲＬとして以下の接続先を許可するよう設定してください、と案内されています。

宛　先	ＵＲＬ
第六世代管理ツール	https://nzs6.e-probatio.com/

※「商業登記リモート署名方式」で電子署名する場合は、許可が必要なＵＲＬを法務省HP(https://www.moj.go.jp/MINJI/minji06_00236.html)でご確認ください。

(2) e-TAX 法定調書(報酬・不動産ﾏｲﾅﾝﾊﾞｰｵﾌﾟｼｮﾝ)を利用する場合に許可する宛先とポート

報酬・不動産ﾏｲﾅﾝﾊﾞｰｵﾌﾟｼｮﾝをご利用の場合、上記に加え、下記についても許可が必要です。

宛　先	ＵＲＬ	ポート
株式会社ＴＫＣ	https://HFMyNumberSetup.tkc.co.jp	443
	https://HFMyNumberManagement.tkc.co.jp	443

２．通信を許可するプログラム

(1) e-TAX 法定調書を利用する場合に許可するプログラム

ファイル名	ファイルの場所
EtsMain.exe	(ｼｽﾃﾑﾄﾞﾗｲﾌﾞ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETHOTEI
EtsPKey.exe	
DownloadTkcUpdate.exe	(ｼｽﾃﾑﾄﾞﾗｲﾌﾞ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETHOTEI¥CTS
EtsAppLauncher.exe	(ｼｽﾃﾑﾄﾞﾗｲﾌﾞ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETHOTEI¥CTS
	(ｼｽﾃﾑﾄﾞﾗｲﾌﾞ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETHOTEI¥CTS¥Temp
TkcUpdate.exe	(OSﾄﾞﾗｲﾌﾞ):¥Program Files (x86)¥TKC¥Update
BasicSetup.exe	(OSﾄﾞﾗｲﾌﾞ):¥Program Files (x86)¥TKC¥Update¥***** ※フォルダ名の*****部分は、システム登録状況により値が異なります。 「1.3.45.129」のように数値と「.」の組み合わせとなりますので、 Updateフォルダ内を確認してください。
TkcUpdate.exe	
TkcUpdateOdm.exe	
DOTNETVer4DL.exe	(OS ﾄﾞﾗｲﾌﾞ):¥ProgramData¥TKC¥CDROOT¥PROGRAMS¥WIN¥FW4
DOTNETVer2DL.exe	(OS ﾄﾞﾗｲﾌﾞ):¥ProgramData¥TKC¥CDROOT¥PROGRAMS¥WIN¥FW35SP
instMS14DL.exe	(OS ﾄﾞﾗｲﾌﾞ):¥ProgramData¥TKC¥CDROOT¥PROGRAMS¥WIN¥MSEE2014
instMS22DL.exe	(OS ﾄﾞﾗｲﾌﾞ):¥ProgramData¥TKC¥CDROOT¥PROGRAMS¥WIN¥MSEE2022
SQL2022-SSEI-Expr.exe	
OEClient.exe	(ｼｽﾃﾑﾄﾞﾗｲﾌﾞ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETHOTEI¥OEClient
SystemUsageSender.exe	(ｼｽﾃﾑﾄﾞﾗｲﾌﾞ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETHOTEI¥CBC
	(OS ﾄﾞﾗｲﾌﾞ):¥Users¥<ﾕｰｻﾞｰ名>¥AppData¥Local¥Temp¥TkcSystemUsage2nd ※<ﾕｰｻﾞｰ名>はコントロールパネル＞システム＞システムの詳細設定で環境変数 Temp をご確認ください。
TkcChatBotLauncher.exe	(OS ﾄﾞﾗｲﾌﾞ):¥Program Files (x86)¥TKC¥Shared Files¥TkcChatBotLauncher

※「ｼｽﾃﾑﾄﾞﾗｲﾌﾞ」は、e-TAX法定調書をインストールしたドライブです。

※「OSﾄﾞﾗｲﾌﾞ」は、ＯＳが登録されているドライブです。

(2) e-TAX 法定調書(報酬・不動産ﾏｲﾅﾝﾊﾞｰｵﾌﾟｼｮﾝ)を利用する場合に許可するプログラム

報酬・不動産ﾏｲﾅﾝﾊﾞｰｵﾌﾟｼｮﾝをご利用の場合、下記についても許可が必要です。

ファイル名	ファイルの場所
eTaxMNMngm_CL.exe	(ｼｽﾃﾑﾄﾞﾗｲﾌﾞ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETHOTEI¥eTaxMNMngm
RegMngmCer_Client.exe	(ｼｽﾃﾑﾄﾞﾗｲﾌﾞ):¥Program Files (x86)¥TKCDOTNET¥ETHOTEI¥eTaxMNMngm¥RegMngmCer

※「ｼｽﾃﾑﾄﾞﾗｲﾌﾞ」は、e-TAX法定調書をインストールしたドライブです。

３．設定が必要なネットワーク機器およびソフトウェア

(1) ＵＴＭ(統合脅威管理)製品・機器
(2) ファイアウォール装置、ファイアウォールソフト
(3) プロキシサーバー
(4) ウイルス対策ソフト、セキュリティ対策ソフト等

（ご注意）

「ｅ－ＴＡＸ法定調書」をパソコンに登録した際に、コントロールパネルーインターネットオプションの「信頼済みサイト」に、国税電子申告・納税システム(e-Tax)のＵＲＬ、および地方税ポータルシステム(eLTAX)のＵＲＬが登録されます。

４．プロキシサーバーの認証方式に関する制約

地方税ｅＬＴＡＸ仕様では、プロキシサーバーの認証方式に関する制約として、対応している認証方式は「BASIC 認証」「Digest 認証」「Negotiate(NTLM)認証」とされています。

ｅ－ＴＡＸ法定調書をご利用のパソコンからインターネットに接続する経路に認証が必要なプロキシサーバーが設置されている場合は、その認証方式が「BASIC 認証」「Digest 認証」「Negotiate(NTLM)認証」のいずれかであるかどうかを、貴社のシステム担当者の方にご確認ください。

以上